

浦添市F M施策に関する民間提案 審査講評（平成 30 年度提案）

浦添市では、市有施設の整備や維持管理、その他の公共F Mに関する事業において、P P P（公民連携）を取り入れることで、民間の創意工夫等を最大限活用し、市民サービスの向上、地域経済の活性化及び財政負担の軽減等を目的に民間から事業提案の募集を行いました。

浦添市F M施策に関する民間提案審査委員会は、提案に応募いただいた9グループを対象に15件の簡易提案書等の書類審査及びヒアリングを実施し、公正かつ厳正に評価を行いました。

各提案者共に、独創性のある発想力やノウハウをいかんなく発揮し、市庁舎や市民駐車場の管理手法や有効活用に関するご提案や庁用車の包括的管理に関するご提案、また「浦添市産業振興センター・結の街」と「浦添市てだこホール」の省エネ設備更新等に関するご提案がありました。

「提案事業 30-1 自由提案型公共F M推進事業」に関しては、7つの提案があり、表示灯株式会社福岡支社のご提案は、広告収入を活用した市の費用負担が生じない、A E D付情報案内版設置や、市庁舎案内板と連動した情報発信の多様化に期待できるご提案をいただき採用となりました。また、大和リース株式会社沖縄支店からご提案がありました市民駐車場の混雑解消対策については、事業化への検証が必要であることから継続協議といたしました。

「提案事業 30-2 庁用車包括管理委託事業」においては、大和リース株式会社沖縄支店からご提案がありましたが、庁用車の維持管理に加え配車業務を包括した業務委託が可能か検討したいため、継続協議となりました。

「提案事業 30-3 浦添市産業振興センター・結の街省エネ設備更新事業」については4つの提案があり、特にヤシマ工業株式会社、株式会社浦城産業、三菱U F J リース株式会社並びに株式会社久米電装の4社共同体的ご提案は、補助金を活用した実現性の高いご提案をいただき、採用となりました。

「提案事業 30-4 浦添市てだこホール省エネ設備推進事業」については、3つの提案があり、特に株式会社リライアンスエナジー沖縄並びにヤシマ工業株式会社共同体のご提案は、本市の財政負担の軽減及び平準化、省エネ及び災害拠点化機能の事業化に期待できる提案が高く評価され、採用となりました。

「提案事業 30-5 浦添市てだこホール空スペース有効活用事業」については、今回応募が無かったことから、改めて公募手法を検証した上で事業化を目指してまいります。

最後に、多大なご労力をかけ、貴重なご提案をいただいた提案者の皆様に、あらためて感謝の意を表すとともに、心よりお礼申し上げます。

平成 31 年 2 月 12 日

浦添市 FM 施策に関する民間提案
審査委員会 委員長